

第6次国見町総合計画見直しにおける基本理念等の改訂について

○総合計画における基本理念は、町の将来像を明確にし、計画の方向性を示すものです。

【背景と経過】

5月28日開催の第1回国見町総合計画審議会において、計画の中間見直しに関する方針が確認されました。

【計画の中間見直しに関する方針（抜粋）】

社会の状況の変化や多様な町民のニーズを的確に取り入れながら、検証及び必要な見直しをする必要があります。そのため基本理念や基本計画の「国見町がめざす6つまちづくり」について見直すほか、基本計画の41施策体系についても文言やKPIの数値等の整理をするものとします。その中で町民の多様な意見等を反映させるため専門部会を設置します。

令和3年に総合計画を策定後、急速な社会のデジタル化の進展、国際情勢の不安定化、世界的なエネルギー価格高騰による物価高騰、新型コロナウイルス感染症の流行を契機とした新たな日常生活への対応など、社会経済情勢は大きく変化しました。

また、本町においても令和4年4月に町全域が過疎地域に指定されるなど、予想を上回る速さで人口減少が進んでおり、人口減少対策は喫緊の課題となっています。

このため、見直し方針をもとに人口ビジョン（改訂版）や令和7年3月実施の町民アンケート結果などを基礎資料としながら新たに5つの専門部会を設置し、見直しの協議・検討を進めてきました。

見直しの協議・検討の結果、計画前期の「安全安心と幸福度の向上」の考え方を継承しながら、加速している人口減少に対応するため、計画後期の基本理念を「みんなが真ん中すこやかに活気あふれるまち」～みんなでつくろう 国見の未来～ に改訂します。

【基本理念のコンセプト】

「みんなが真ん中」

まちづくりの主体となる町民をはじめ、町に関わる人がつながりを持ちながら、全員が主役でまちづくりを進めていく姿を「みんなが真ん中」と表現しています。

「すこやかに」「活気あふれる」

町民アンケートや開催した専門部会では、国見町に住んでいるすべての人がまずは健康でイキイキと輝いていることが大事ではないかとの意見がありました。そこで「すこやか」には健康や子育て、子どもの成長などを、「活気あふれる」には国見町に活力や賑わいが常にある状態を表現しています。

後期計画の基本理念は、すべての人が国見町に住み続けたい・住みたいと実感するとともに、若者も国見町に残りたい・戻りたい・移りたいと思えるよう、町にかかわるひと全員が主役のまちづくりを進め、みんながイキイキと暮らすことができ、豊かで活力あるまちを目指し、後期計画の将来像・方向性としての基本理念とします。

総合計画基本理念

【計画前期】「命を大切に 誰もが幸せに暮らすまち くにみ」



【計画後期】「みんなが真ん中 すこやかで活気あふれるまち」
～みんなでつくろう 国見の未来～

※基本理念の変更にあわせて国見町が目指すまちづくりも6つから5つへ変更

まちづくり1「いきいき健康のまちづくり」

まちづくり2「安全・安心で住みやすいまちづくり」

まちづくり3「学びと育みのまちづくり」

まちづくり4「活力あふれるまちづくり」

まちづくり5「信頼と協働のまちづくり」